

## 令和6年度 信学会上田幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

### 1. 園の教育目標

「あかるい あいさつをしよう」「げんきに なかよく あそぼう」「からだいっぱい たのしもう」

### 2. 本年度の重点目標

子どもの感性や表現力を育てる、楽しみながら体力づくりをする、ことばの力を伸ばす

### 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

### 4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・幼稚園の取組が小学校にどうつながっていくのかモニター会で話題になった。自ら考える力の育成など、子どもたちの将来を見据えながら教育、保育の充実に努めたい。
- ・人数が少ないことへの不安があったが、子どもたちと職員との絆を感じる場面があり、小規模園の良さを知った。職員の姿勢や子ども・保護者への対応のあり方が、規模にかかわらず信頼される園となる。
- ・行事のあり方など、変えることと変えずに継続していることがある。変えることも継続することも共に大切にすることが、常に子どもを真ん中に据えて考えてほしい。

### 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・本園が重視している「安心感のある楽しく安全な園運営」について、保護者アンケート結果同様、自己評価でも肯定的な評価となっている。
- ・園運営の対する信頼を得るために、情報提供や保護者との意思疎通は大変重要である。引き続き、方法や内容などを検討していきたい。
- ・グランドデザインに示した重点目標がやや幅広く焦点化していないためか、すべきことが曖昧になっている。職員間で具体的な取組を明確にして共通理解を図っていく。
- ・子どもたちに育てる力を明確にした上で教育環境の整備をしていくことがより必要である。